

「マイナビ 2023 年卒大学生 活動実態調査(8 月)」を発表**2023 年卒業予定の大学生・大学院生の 8 月末時点での内々定率は前年比 4.5pt 増の 85.8%****8 割以上が「入社前に配属先を通知してほしい」**

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2023 年卒業予定の全国の大学生・大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2023 年卒大学生 活動実態調査（8 月）」の結果を発表しました。（調査期間：2022 年 8 月 25 日～8 月 31 日）

《TOPICS》

- ◆ 2023 年卒業予定の大学生・大学院生の 8 月末時点での内々定率は前年比 4.5pt 増の 85.8%。現行の採用スケジュールとなって以降過去最高【図 1、2】
- ◆ 内定式の実施方法は「対面形式」が 66.1%と最多で「オンライン形式」を大幅に上回る【図 3】
- ◆ 配属先を通知してほしいタイミングは「入社前」が 8 割以上【図 4、5】
- ◆ 就職活動の納得感について「納得できている」と回答した学生は約 7 割【図 6、7】

【調査概要】

2023 年卒業予定の大学生・大学院生の 8 月末時点での内々定率は前年比 4.5pt 増の 85.8%、平均内々定保有社数は前年比 0.3 社増の 2.5 社だった。企業の採用意欲の高まりを受け、7 月に引き続き、内々定率・平均内々定保有社数ともに前年比増で推移しており、内々定率は現行のスケジュールになって以降（2017 年卒～）過去最高の数値となった。【図 1、2】

入社予定先企業から内定式の詳細に関する連絡を受けた学生に実施形式を聞いたところ、「対面形式で実施される予定」が 66.1%（前年比 32.4pt 増）で最も多く、前年最多だった「オンライン形式で実施される予定」の 26.8%（前年比 26.9pt 減）を大幅に上回り逆転した。コロナ禍 3 回目の内定式だが、企業側にも感染症対策のノウハウ等が蓄積されたことで、対面実施の予定が増加したと考えられる。【図 3】

「入社後の配属をどの時点で知りたいと思うか」という質問に対し、入社前に知りたいと思う学生は 86.0%だった（「内定通知前の面談・面接」「内定通知と同時」「内定式」「内定通知後から入社前まで（内定通知時、内定式は除く）」の合計）。企業調査によると「入社前」に配属先を告知する割合は「勤務地の通知」が 60.8%、「職務内容の通知」が 57.8%と、学生の希望するタイミングと実際の企業が通知するタイミングにギャップが生じていることが分かる。特に、「内定通知と同時」（15.5%）、「内定式」（15.4%）は企業が実際に実施するタイミングとギャップが大きく、学生は入社後の自身の働く環境について早めに知りたいというニーズがあるようだ。【図 4、5】

これまでの就職活動に対する納得感を聞いたところ、7 割以上の学生は自身の就職活動に対して納得していることが分かった（「ある程度納得できる就職活動ができている」（37.1%）と「十分に納得できる就職活動ができている」（37.0%）の合計）。「十分に納得する就職活動ができている」理由として、「第一志望の企業に内々定をもらえた」というコメントが多く、そのほかにも「インターンシップに参加したことで志望業種・企業をよく知ることができた」「仕事と自身の専門や取り組んでいる研究との間に連続性が感じられる」といった声が挙がった。また、給与や勤務地、福利厚生といった「入社後の待遇に満足できたから」といった内容も見られた。インターンシップ・ワンデー仕事体験の参加といった事前準備が活発化したことで学生のキャリア観醸成が進み、企業の採用意欲の高まりを受け内々定率や平均内々定保有社数が前年より増えている。このような背景により、学生が入社予定先を決定するうえでの選択肢が増えたことで、納得度が高まっていると考えられる。【図 6、7】

【調査担当者コメント】

多くの企業が内定式を行う 10 月 1 日まで残り 1 カ月を切り、入社予定先企業から「内定式を対面形式で実施する」という連絡を受けた学生が多いことが分かりました。学生の多くも対面形式を希望していますが※2、新型コロナウイルス感染症もまだまだ予断を許さない状況であり、学生も企業も感染症対策を十分に講じて内定式に臨んでもらいたいと思います。また、入社後の配属先について、企業が学生に告知する時期と学生が知りたいと思う時期にギャップがあることが明らかになりました。企業によっては入社前に配属先を決定することが難しいケースもありますが、入社後の配属について具体的に知りたいという学生も多いため、このギャップを少しでも埋めていくためには、可能な範囲で配属先に関して学生に向けて説明するなど、選考や面談等を通じて入社後の希望についてコミュニケーションを図っていくことが重要だと考えます。

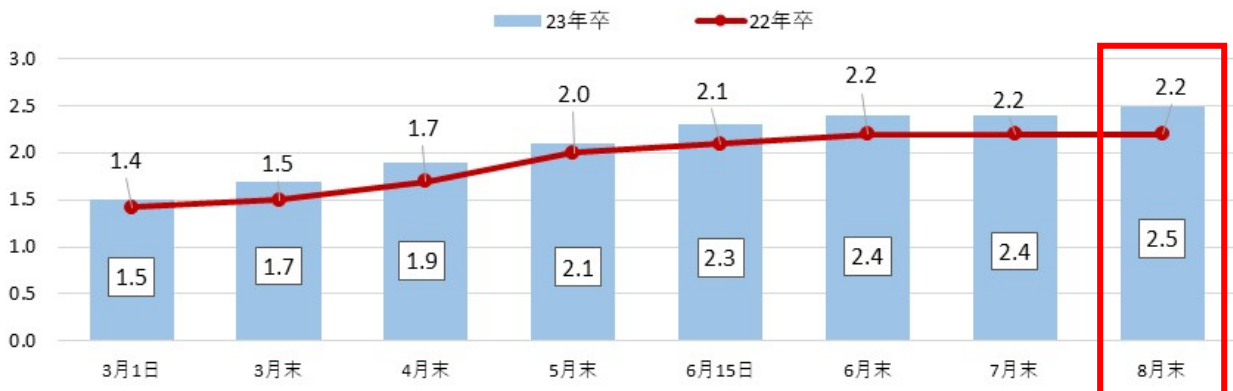
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川洋介

※2 マイナビ 2023 年卒大学生生活動実態調査（7 月）

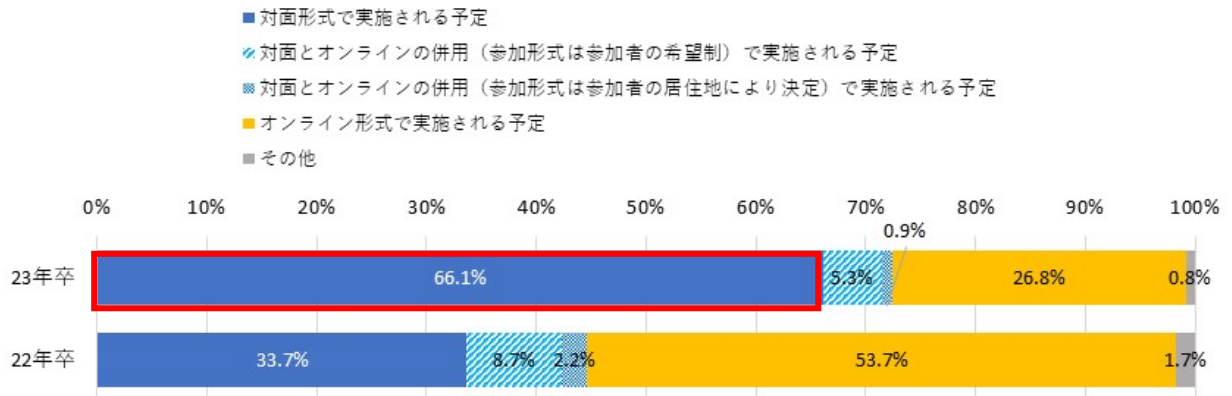
【図 1】内々定保有率の推移



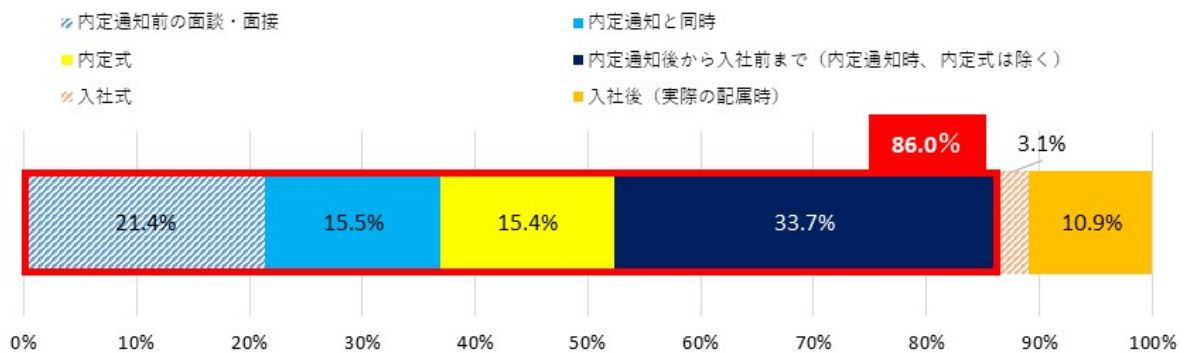
【図 2】平均内々定保有社数



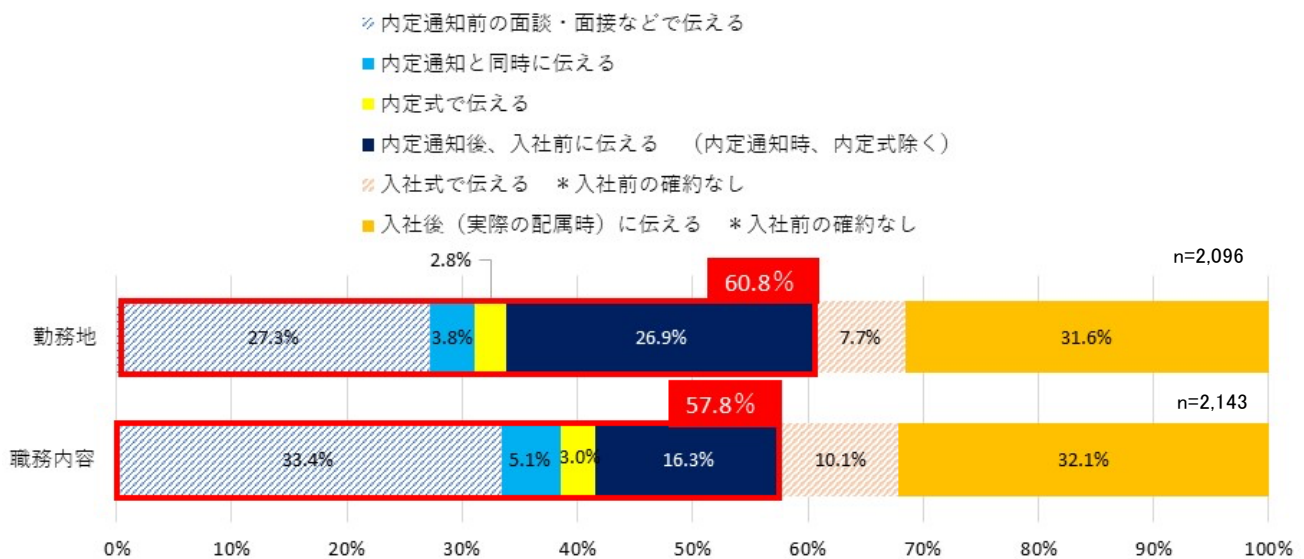
【図3】 <内定式の詳細の連絡を受けた学生限定>
内定式の実施形式について



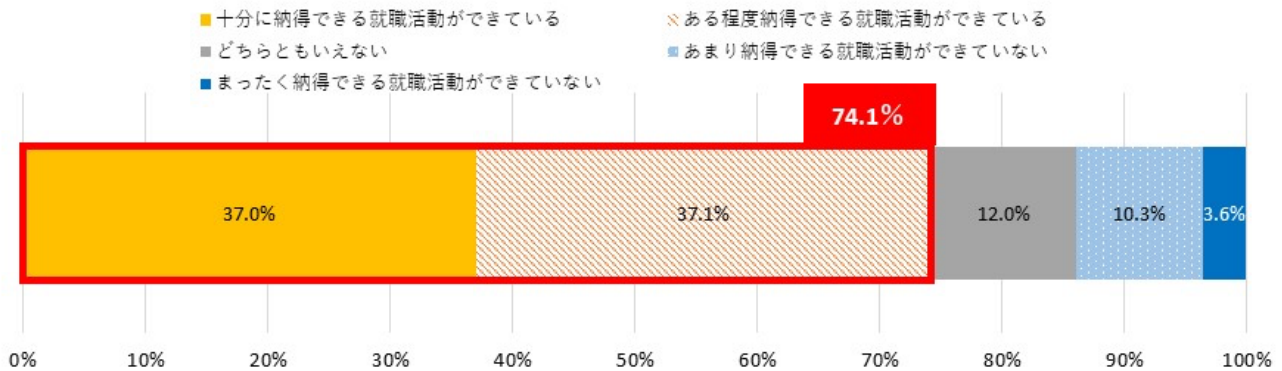
【図4】 入社後の配属について、どの時点で知りたいと思うか



【図5】 <「マイナビ 2023年卒 企業新卒採用活動調査より」>
配属先をどのように告知するか



【図 6】 これまでの就職活動に対する「納得度」



【図 7】 これまでの就職活動の「納得度」に対するコメント（自由回答／一部抜粋）

【十分に納得できる就職活動ができている】と答えた理由（自由記述）

理系女子	第一志望の企業から内定を頂いたため、大いに納得しています。
文系女子	インターンシップに参加し、実際に働かれている方や会社の雰囲気を自分で感じることで、自分が働きたいと思える会社を見つけることができたため。また、自分が働きたい企業と出会うことによって自分の中のモチベーションが上がり、就職活動に対する意欲が保たれた。
理系男子	機械系の専門で、それに近いもので自分のスキルを高めていきたいと思ったので、希望としている機械系の会社に内定をいただいたので十分に満足している。
文系女子	給与や休日等、自分が気にしていた項目を満たしている企業から内定をもらえたから

【調査概要】「マイナビ 2023 年卒大学生 活動実態調査（8 月）」

- 調査期間／2022 年 8 月 25 日（木）～8 月 31 日（水）
- 調査方法／マイナビ 2023 の会員に対する WEB アンケート
- 調査対象／2023 年 3 月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査機関／自社調べ
- 有効回答数／3,514 名（文系男子 754 名 文系女子 1,423 名 理系男子 734 名 理系女子 603 名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が 100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川
 Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 広報部 石井
 Email : koho@mynavi.jp